

ふじ市議会 だより

第 192 号 令和 4 年 8 月 5 日



第15回富士山百景写真コンテスト エリア賞作品
「9,9(救急)の日の救助訓練」永戸健太さん撮影(エリア:ロゼシアター・中央公園)

委員改選、新たな体制でスタート

特集

いつでもどこでも議会をチェック!! …… 4・5



SDGs 未来都市 富士市

議会の構成



米山 享範
第47代議長



杉山 諭
第55代副議長

6月29日の本会議で副議長選挙が行われるとともに、議会運営委員会、各常任委員会、特別委員会の委員も改選されました。

選挙の結果、副議長には杉山諭議員が当選しました。

◎委員長 ○副委員長

総務市民委員会



(後列左より)
藤田哲哉・太田康彦・笹川朝子・杉山 諭
(前列左より)
井上 保・萩野基行・○長谷川祐司・海野庄三

【所管事項】
総合的な企画・調整、財政、税金、市民生活、スポーツ、防災などについての事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査します。

福祉保健委員会



(後列左より)
小池義治・鈴木幸司・井出晴美・荻田丈仁
(前列左より)
米山享範・◎佐野智昭・○望月 徹・稲葉寿利

【所管事項】
福祉、保健、子ども、病院などについての事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査します。

産業教育委員会



(後列左より)
一条義浩・小池智明・笠井 浩・望月 昇
(前列左より)
影山正直・◎下田良秀・○小野由美子・石橋広明

【所管事項】
商工、農林、労働、清掃、環境、教育などについての事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査します。

建設消防委員会



(後列左より)
遠藤盛正・鳥居育世・小沢映子・高橋正典
(前列左より)
小山忠之・◎山下いづみ・○吉川隆之・川窪吉男

【所管事項】
道路、河川、公園、都市計画、上・下水道、消防などについての事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査します。

一般・特別会計決算委員会

一般会計及び特別会計の決算に関する事項を審査します。

◎小池 義治 ○小野由美子 稲葉 寿利
太田 康彦 遠藤 盛正 佐野 智昭
望月 昇 高橋 正典 小山 忠之
一条 義浩 望月 徹 笠井 浩
杉山 諭 山下いづみ 笹川 朝子

企業会計決算委員会

企業会計の決算に関する事項を審査します。

◎藤田 哲哉 ○長谷川祐司 川窪 吉男
石橋 広明 荻田 丈仁 下田 良秀
小池 智明 井上 保 鳥居 育世
小沢 映子 鈴木 幸司 井出 晴美
萩野 基行 海野 庄三 吉川 隆之

委員会名を変更しました

市の組織改正及び副市長の事務分担変更により、富士市議会委員会条例を改正し、4月1日より下記の委員会の名称及び4常任委員会における所管事項を変更しました。

【変更した委員会の名称】
(旧)文教民生委員会→福祉保健委員会
(旧)環境経済委員会→産業教育委員会
(旧)建設水道委員会→建設消防委員会

【変更した主な所管事項】
教育は
(旧)文教民生委員会から産業教育委員会へ、
消防は
(旧)総務市民委員会から建設消防委員会へ
変更となりました。

所管事項の詳細は、左ページを御覧ください。

議会運営委員会

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項の調査や議案、請願等を審査します。

◎高橋 正典 ○鈴木 幸司 荻田 丈仁
藤田 哲哉 佐野 智昭 小池 智明
山下いづみ 海野 庄三

ユニバーサル就労推進特別委員会

ユニバーサル就労の推進等について、調査・研究をします。

◎鈴木 幸司 ○井出 晴美 石橋 広明
太田 康彦 遠藤 盛正 小池 智明
山下いづみ 一条 義浩

議会改革検討委員会

議会の活性化を図り、議会改革を推進するための協議または調整を行います。

◎小池 智明 ○萩野 基行 遠藤 盛正
小野由美子 下田 良秀 望月 徹
小池 義治 鈴木 幸司

議会広報委員会

議会だよりの編集及び発行並びに議会ウェブサイト等の編集及び管理について協議または調整を行います。

◎井上 保 ○吉川 隆之 井出 晴美
佐野 智昭 長谷川祐司

議会の構成

特集

6月定例会

常任委員会の審査等

一般質問一覧等

議会広報委員のページ

議会の構成

特集

6月定例会

常任委員会の審査等

一般質問一覧等

議会広報委員のページ

いつでもどこでも議会を チェック!!

今定例会では、多くの方に傍聴に来ていただきました。誰もが議会の動きを知ることができるよう、様々な形で議会の情報を公開していますので、その内容を御紹介します。

まず

本会議や委員会とは？

富士市議会では様々な会議が行われていますが、その中でも重要なのが本会議と委員会です。この2つの会議の流れを解説します。

本会議の流れ

- 1 議案の上程、説明**
予算や条例等、議会で議決すべき議案を上程し、議案提出者が内容を説明します。
- 2 議案に対する質疑・答弁**
議員は議案の内容等の疑問点について質疑し、議案提出者が回答します。
- 3 委員会付託**
議案を詳細に審査するために、その部門を担当する委員会に議案を振り分けます。
- 4 委員長報告**
委員会の委員長が、委員会の審査結果を報告します。
- 5 討論**
議員は議案に対して、賛成または反対の意見を述べます。
- 6 採決**
議案に対する賛否について、議会としての意思を決定します。

委員会の流れ

- 1 議案の説明**
本会議から各委員会に付託された議案について、担当課長が説明を行います。
- 2 議案に対する質疑・答弁**
委員は議案の内容等の疑問点について質疑し、担当課長が回答します。
- 3 討論**
委員は議案に対して、賛成または反対の意見を述べます。
- 4 採決**
討論後、議案に対する賛否について、委員会としての意思を決定します。



本会議や委員会を知りたい!

本会議と委員会の内容は、市民の皆様が確認できるよう、いろいろな形で公開されています。直接議会を見るだけでなく、家にいながら様子を知ることができます。

傍聴する

本会議の受付は、10階傍聴席入口になります。委員会の傍聴の受付は、会場が9階の第1委員会室の場合は議会事務局窓口、第2委員会室の場合は第2委員会室入口、10階全員協議室の場合は全員協議室入口になります。



議会生中継・録画配信を見る

本会議は、富士市ウェブサイトにも生中継及び録画配信されます。委員会の生中継や録画配信はありません。

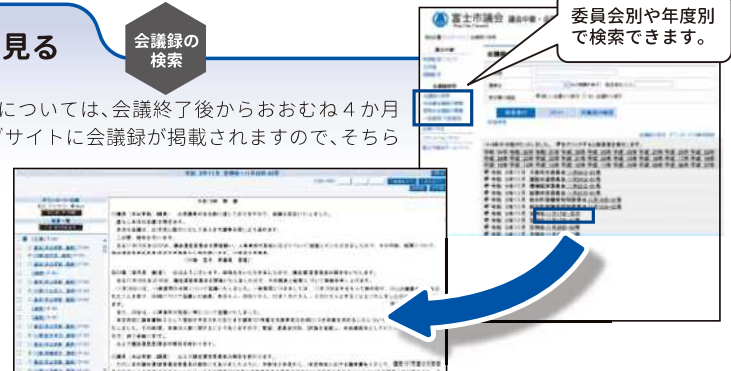
動画配信



会議録を見る

本会議と委員会については、会議終了後からおおむね4か月後に、富士市ウェブサイトにも会議録が掲載されますので、そちらを御覧ください。

会議録の検索



ウェブサイトで議会情報を入手!

富士市ウェブサイトの「市政情報」または「富士市議会」をクリックしてください。会議録検索をはじめ、議会に関する様々な情報を公開しております。



6月定例会

6月定例会常任委員会の審査

会期内容

- 6月13日 本会議(開会).....
 - ◇所管事務調査の中間報告・質疑 ◇議案1件(報告案)報告 ◇議案1件(報告案)説明・質疑・討論・採決 ◇議案3件(契約案・単行案)説明・質疑・討論・採決 ◇議案7件(補正予算案・条例案)説明・質疑・委員会付託 ◇陳情2件委員会付託 ◇静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙
- 14日 委員会.....
 - ◇議会運営委員会
- 16日 委員会.....
 - ◇総務市民委員会 ◇産業教育委員会
- 17日 委員会.....
 - ◇福祉保健委員会 ◇建設消防委員会
- 21日 委員会.....
 - ◇議会運営委員会
- 22日 本会議.....
 - ◇議案7件、陳情2件委員長報告・質疑・討論・採決 ◇議案4件(人事案)説明・採決 ◇一般質問
- 23・24日、27・28日 本会議.....
 - ◇一般質問

- 29日 本会議(閉会).....
 - ◇副議長選挙 ◇議会運営委員・常任委員・特別委員の選任

人事案件 (敬称略)

- 4件の人事案件は、次のとおり同意・承認されました。
 - ▷富士市ほか1組合公平委員会委員 佐野 房枝(今泉)
 - ▷富士市固定資産評価員 杉山 貴(伝法)
 - ▷富士市森林財産委員会委員 鈴木 達雄(中里)
 - ▷人権擁護委員候補者
 - 小林 弘美(原田) 牧野 哲(富士見台1丁目)
 - 小野田 功(大淵) 久保田直人(大淵)
 - 佐藤 里美(南町) 深沢 洋子(横割5丁目)
 - 小川 弥生(今泉) 櫻井 洋二(森島)

議員の表彰

- 全国市議会議長会定期総会(令和4年5月25日)において、次の議員が表彰を受けました。
 - ◎一般表彰(在職15年以上)
 - 井上 保、海野 庄三、笠井 浩、小池 智明、荻田 丈仁

議案の審議結果

※太字は委員会付託議案です。

■全会一致で可決、承認、同意した議案

報告	専決処分の承認、繰越使用の報告
富士市税条例の一部を改正する条例制定	
令和3年度富士市一般会計予算(事故繰越し)の繰越使用	

予算	令和4年度補正予算
富士市一般会計補正予算(第2号)	
富士市病院事業会計補正予算(第1号)	

条例	条例の改正
富士市税条例等	
富士市手数料条例	
富士市国民健康保険条例	

富士市病院事業使用料及び手数料条例
富士市消防団員等公務災害補償条例

その他	契約の締結
令和4年度五味島岩本線(岩松工区)街路築造工事	

その他	財産の取得
塵芥車取得	
小学校用タブレットパソコン取得	

人事
富士市ほか1組合公平委員会委員の選任
富士市固定資産評価員の選任
富士市森林財産委員会委員の選任
人権擁護委員候補者の推薦

選挙
静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員

総務市民委員会

(補正予算1件、条例1件)

【委員長】鈴木幸司 【副委員長】萩野基行
 【委員】稲葉寿利、荻田丈仁、下田良秀、望月 徹、井上 保、笠井 浩

●予算化の積算過程等を見直し、適切な予算計上の徹底を

問 まちづくりセンターリニューアル事業費を4674万円余増額し、予算不足に陥り発注ができなくなった吉原まちづくりセンターリニューアル工事に充てるとのこと。最終的な仕様決定が本年1月となったことや大規模な改修工事に職員が不慣れだったことが、その原因との説明がありました。具体的にどのように予算計上に影響したのですか。

答 大規模なリニューアル工事にもかかわらず、通常の小規模改修工事と同様のスケジュールで設計作業を開始したことや、設計の基

幹部分となるエレベーター位置の決定が令和3年8月まで日数を要したことなどにより、予算要求期限までに地区からの要望を反映することができなかつたため、当初予算は概算額での計上となつてしまいました。

要望 大規模改修事業に対する職員の経験不足も予算超過に至った要因の一つとされていることから、再発防止策として、民間企業のノウハウや見識を取り入れるほか、研修会等に積極的に職員を参加させスキルアップを図るとしていますが、今後もまちづくりセンターのリニューアル工事が続けて予定されているので、影響が出ないよう努めてください。

福祉保健委員会

(補正予算2件、条例2件、陳情1件)

【委員長】小池義治 【副委員長】佐野智昭
 【委員】影山正直、望月 昇、米山享範、一条義浩、石橋広明、小野由美子

●保育園等の給食費における物価高騰分の対応は

問 保育園等給食事業費を1199万円増額し、給食費に係る物価高騰分として、給食単価の10%を補填するとのことですが、食材費だけでなく、あらゆるものの値段が上がってきている中で、物価高騰分を保護者に負担してもらう考えはありますか。

答 今年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、食材費や光熱水費の増加分に充てますが、来年度以降も物価上昇が続く場合には、食材費については基本的に保護者負担と国が定めていることから、給食単価を値上げする形で対応せざるを得ないと考えています。光熱水費については、保育園だけでなく全庁的な問題であることから、施設全体の状況を見ながら、補正予算で対応したいと考えています。

及び特別再診料について、国の改定に合わせて増額改定するとのことですが、以前行った特定初診料から特別初診料への改正により、患者全体のうち対象となる患者の割合はどの程度減りましたか。また、大病院が周辺の中小病院や診療所などと連携して患者を紹介し合い、医療の効率化・機能分化を図るといふ制度の趣旨に基づき、かかりつけ医に戻ってもらうように指導や助言は行っていますか。

答 特別初診料に改正したことにより、平成29年度には、初診患者数2万1957人のうち特別初診患者数は3736人だったものが、平成30年度には、初診患者数2万1191人のうち特別初診患者数は2482人と、17%から11.7%へ減少しています。また、かかりつけ医に戻っていただく取組として、地域医療連携センターが中小病院や診療所を訪問するとともに、持参薬を持って入院する患者の場合は、そのかかりつけ医に逆紹介するなどしています。

●中央病院の特別初診料及び特別再診料の増額に合わせた医療の効率化・機能分化への取組は

問 初診時に紹介状を持たずに受診した場合等に徴収が義務づけられている特別初診料

議会の構成

特集

6月定例会

常任委員会の審査等

一般質問一覧等

議会広報委員のページ

議会の構成

特集

6月定例会

常任委員会の審査等

一般質問一覧等

議会広報委員のページ

産業教育委員会

【委員長】遠藤盛正 【副委員長】山下いつみ
【委員】川窪吉男、高橋正典、小池智明、吉川隆之、小沢映子、鳥居育世

(補正予算1件、陳情1件)

●キャッシュレス決済ポイント還元事業とは

問 地元消費促進事業費として7億2671万円余を計上し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したキャッシュレス決済ポイント還元事業を行うとのことですが、どのような内容ですか。

答 本事業は、市民の消費喚起及び市内商店等の売上げ向上を目的に、市内の小売、飲食、サービス業などの店舗等において、対象のキャッシュレス決済サービスを利用して支払いをした方に、支払い金額の20%相当のポイントを付

与するものです。
キャッシュレス決済サービスについては、ユーザー数が一番多く、本市とキャッシュレス化推進に関する包括連携協定を締結している事業者が提供するサービスとし、ポイント上限を1回当たり1000円、1か月当たり5000円、実施期間を1か月とする予定です。

要望 本事業は本市では初めての取組であり、実施期間も1か月と短いですが、十分な効果が表れるよう、市民、店舗等に事前の丁寧な説明や周知に努めてください。

建設消防委員会

【委員長】太田康彦 【副委員長】井出晴美
【委員】小山忠之、海野庄三、杉山 諭、長谷川祐司、笹川朝子、藤田哲哉

(補正予算1件、条例2件)

●地域公共交通事業者運転士確保支援補助金の申請見込みは

問 公共交通支援事業費を160万円増額し、深刻な運転士不足に悩む地域公共交通事業者が、新たに運転士を雇用する際に負担する免許取得費用の2分の1を助成するとのことですが、申請人数はどのように見込んだのですか。また、免許取得者が多いタクシー運転士の申請人数が見込み

を上回った場合、どのような対応を考えていますか。

答 昨年度の事業者の免許取得実績を基に、大型二種免許は上限15万円を4人、中型・普通二種免許は上限10万円を10人と見込みました。また、見込みを上回った場合は、各々の枠にとられず、今回の補正予算額の中で柔軟に対応したいと考えています。

陳 情

感染対策下における生徒児童の人権に関する陳情 ◇産業教育委員会にて審査◇

マスクの着脱について、教育現場では、児童生徒等本人が自身の判断でも適切に対応できるように指導しているが、実際には子供が自分の意思でマスクを着脱できる状況になく、マスクをしたくないという子供の思いは尊重されず、富士市子どもの権利条例で定められている子供の権利は守られていない。

第一に子供本人の意思が尊重されるべきであること、身体的、精神的及び発達上の問題で

マスクを着用できない児童生徒がいること、また、マスクを着用できない人に対する差別・偏見・同調圧力は許されないことなどを各学校の職員、児童生徒、保護者、地域に周知するとともに、体育、登下校やそれ以外の運動時、夏の屋外など、マスクを着用したままでは命が危険と判断される状況では、マスクを外すよう指導してほしい。

【審査結果】

マスクの着用については、家庭や子供の様々な事情や考え方を考慮した上で多様性を認め、それぞれの人権を守る指導を行うよう周知し、今後も継続して熱中症等の健康被害のリスクなどを伝え、安全への指導を徹底していくとの当局説明を了承することに決しました。

陳 情

子育て支援施策としての放課後児童クラブの在り方、行政と子育て支援団体の連携の在り方に関する陳情 ◇福祉保健委員会にて審査◇

児童クラブは、「就労支援」だけでなく、「育成支援」にも相当の比重を置くべきだが、その基本的な部分で行政・委託法人の認識は大きく異なっている。児童クラブの果たすべき役割を市、保護者、委託法人、支援員等の関係者間で共有するとともに、令和5年度から、現委託法人も含めた複数の委託先からの選択制を導入することや、既に現委託法人に移行している児童クラブであっても、他の委託先の選択を可能にすること、委託法人に対し第三者評価を行うことを要望する。

また、70団体以上の子育て市民団体が参加する妊娠子育てネットワーク交流会を組織したが、令和3年度以降は市と協働と言えない状況が続いている。行政と市民団体が定期的に意見交換を行う場を設けることや、妊娠子育てネットワーク交流会を子育て施策に活用することを要望する。

【審査結果】

放課後児童クラブの在り方については、委託法人間の切磋琢磨、危機管理の面からも、委託先を複数者とし、選択できる制度設計とすることや、その開始時期は時間的制約があるが、可及的速やかに実施すること、また、既に現委託法人に移行しているクラブの他の委託先の選択については、複数者選択制の切替えの中で十分に検討するよう要望を付すことに決しました。

福祉保健委員会の所管事務調査 中間報告

「放課後児童クラブにおける一括運営業務委託の状況について」、4月27日、6月2日の2日間、所管事務調査を行いました。

4月27日 ●児童クラブと地域との連携、交流は

問 令和3年度富士市放課後児童クラブ運営評価委員会の評価結果の中で、放課後児童クラブと地域との交流を広げるための取組の実施について、令和2年度、令和3年度の取組を共に評価していますが、運営委員会が運営していたときと比べ、地域との交流が薄れているとの声を聞きます。地域で児童を見守るという観点から、地域としっかり連携していくべきと考えますがいかがでしょうか。

答 過去2年間はコロナ禍で行事の中止等により地域との交流が難しい状況にありましたが、富士市放課後児童クラブ運営基準では、地域が組織する見守る会等と連携を図ることと定めているため、今後、コロナ禍でも可能な限り地域との連携、協力について模索していきます。

6月2日 ●委託法人の予算配分の内容は

問 委託法人の令和2年度予算額は積算根拠に基づき算定されたものですか。また、支出については法人の裁量に委ね、科目間の流用を認めていますか。

答 委託法人の当初予算については、市が規定する委託料算定基準により委託料を算出しています。また、科目間の流用を認めており、支出科目ごとの金額の配分については、児童クラブ利用料等の収入額に応じ、委託法人の裁量に委ねています。なお、コロナ禍において、児童クラブの利用児童減少による利用料の減や、事業の中止等により、予算配分の見直しが必要となった際には、適宜、市への報告も行われています。

●複数事業者への委託の検討は

問 令和7年度からの一括運営の実施体制については、市内全ての児童クラブを1法人に業務委託するのかがどうかを、本年度から検討を開始するとのことですが、複数事業者への委託を検討すると捉えていいですか。

答 富士市放課後児童クラブ運営基本方針では、全ての児童クラブが同一基準の下に運営されることで、サービスの平準化や統一化を図ることを定めていますが、危機管理の面で、複数事業者による運営もメリットがあると考えられるので、選択肢の一つとして検討していきます。

一般質問一覧



議会中継、
会議録検索は
こちらから

一般質問とは、市が執り行う行政事務全般について、議員が質問を行うもので、本定例会では23人の議員が登壇しました。ここでは発言順に質問項目のみを掲載していますので、詳細は富士市ウェブサイト上の本会議の議会議録(録画放送)や10月末頃に発行予定の会議録を御覧ください。
会議録は富士市議会ウェブサイト、図書館で御覧になれます。

議会の構成	えんどう もりまさ 遠藤 盛正	1. 富士市のスポーツツーリズムを進めるための観光交流拠点機能の整備について
	いちじょう よしひろ 一条 義浩	1. 新型コロナウイルスの長期的な副反応への対応について
特集	もちづき とおる 望月 徹	1. 市民のニーズに対応する「なんでも総合相談センター」の創設を 2. 差押え預金口座の誤りに学ぶ、今後の対策について
	さの ちあき 佐野 智昭	1. 田子の浦港のにぎわいづくりを官民協働で計画的・戦略的に推進し加速させていくために
6月定例会	しもだ よしひで 下田 良秀	1. 富士市での安全・安心に利用できるスケートボード練習場の設置やスケートボードに関する今後の施策について 2. 富士市での子供たちの基礎体力向上に対する施策について
	おの ゆみこ 小野由美子	1. 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴う富士市の今後の取組方針について
常任委員会の審査等	よしかわ たかゆき 吉川 隆之	1. 外郭団体に対する市の関与と責任について
	かさい ひろし 笠井 浩	1. 富士市デジタル変革宣言によるふじタウンマップの活用について 2. 富士市内を走るランナーのための給水設備について
一般質問一覧等	こやま ただゆき 小山 忠之	1. 富士市まちづくり活動推進計画における(仮称)まちづくり一括交付金の「調査研究」の創設について
	たかはし まさのり 高橋 正典	1. 富士市内の分譲地内の公園及び雨水調整池の管理について
議会広報委員のページ	おぎ たけひと 萩田 丈仁	1. 積極的な高等教育機関への留置、誘致の取組について
	はせがわゆうじ 長谷川祐司	1. 富士市職員の防災避難訓練及び市民が来庁しているときの避難誘導訓練の実施状況について
一般質問一覧等	いのうえ たもつ 井上 保	1. 旧富士川町域における歴史文化の活用について
	ふじた てつや 藤田 哲哉	1. 社会福祉センターから生まれたコミュニティの今後について 2. 富士市のスポーツを支える人材育成とアスリートのセカンドキャリア支援について 3. 富士市立中央病院の機能充実について
議会広報委員のページ	こいけ よしひろ 小池 義治	1. ふじかくやの湯における入れ墨等の規制問題を事例に考える、行政による法的根拠なき利用制限の是非 2. 2020年2月以降の各種統計情報にコロナ禍の影響はいかに表れているか 3. 常時マスク着用の弊害について認識し、過剰なコロナ感染対策を是正して普通の日常を取り戻すために
	おざわ えいこ 小沢 映子	1. 性暴力を根絶して、被害者も加害者も出さない社会の実現に向けて 2. 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(困難女性支援法)を実効性のあるものにするためには
一般質問一覧等	い で ほるみ 井出 晴美	1. 女性デジタル人材育成プランの推進・活用について 2. 糖尿病重症化予防の取組について
	はぎの もとゆき 萩野 基行	1. 带状疱疹ワクチンの接種について
議会広報委員のページ	ささがわ あさこ 笹川 朝子	1. 学校給食費の無償化について
	やました 山下いづみ	1. 難民の受入れと今後について 2. 多様性を育む取組について
一般質問一覧等	こいけ としあき 小池 智明	1. 公共施設の長寿命化等を進める上での建築系技術職員の確保・育成等について 2. 「静岡県盛土等の規制に関する条例」施行に伴う富士市の対応について
	すずき こうじ 鈴木 幸司	1. 带状疱疹の予防接種に公的助成を求める 2. 業務委託等における富士市の現在の状況について
議会広報委員のページ	とりい いくよ 鳥居 育世	1. 富士市のデジタル化について 2. 静岡県ヤングケアラー実態調査を受けての富士市の対応について

本会議の生中継・録画配信がスマートフォンからも御覧いただけます。(お問合せは議会事務局へ 0545-55-2878)

政務活動費の公表等



支出の詳細は
こちらから

令和3年度

政務活動費の会派別執行状況

政務活動費は、議会における会派(所属する議員が2人以下の場合を含む)に対して交付するものです。ここでは、会派から提出された収支報告書を基に執行状況を公表します。

※会派とは・・・基本的な政策が一致する議員3人以上で結成された同志の集合体

(単位:円)

会派名 (議員数)	収入の部		支出の部							残余额 (A-B)	執行率 (B÷A)		
	政務活動費	預金 利息	合計額 (A)	資料 作成費	資料 購入費	会議費 (研修等別費)	事務費	調査旅費	要請 陳情活動費			その他 経費	合計額 (B)
新政富士 (10人)	2,250,000	17	2,250,017	182,661	123,730	0	16,474	0	0	0	322,865	1,927,152	14.3%
民主連合 (8人)	1,800,000	12	1,800,012	101,876	240,195	6,000	33,102	549,280	0	0	930,453	869,559	51.7%
ふじ21 (4人)	900,000	7	900,007	53,963	0	36,140	18,157	0	0	0	108,260	791,747	12.0%
凜の会・公明党 (旧公明党議員団) (4人)	787,500	4	787,504	13,616	161,640	0	37,368	0	0	0	212,624	574,880	27.0%
リスペクトふじ (R3.6.30結成) (4人)	450,000	1	450,001	65,812	6,600	0	37,130	0	0	0	109,542	340,459	24.3%
無会派 (日本共産党議員団) (2人)	450,000	2	450,002	42,704	185,434	108,960	2,216	0	0	0	339,314	110,688	75.4%
凜の会 (R3.6.30解散)	562,500	3	562,503	0	0	0	0	0	0	0	0	562,503	0.0%
合計	7,200,000	46	7,200,046	460,632	717,599	151,100	144,447	549,280	0	0	2,023,058	5,176,988	28.1%

※令和3年度は、全ての会派で下半期分の請求は行われず、上半期分のみ交付されました。

※各会派の人数は令和4年3月31日現在の人数を記載しています。

※各会派の収支報告書等は、富士市議会ウェブサイトにて御覧になれます。

支出の部の主な内容は以下のとおりです。

- 資料作成費…資料の作成に要する経費や複写機使用料
- 資料購入費…書籍、新聞、雑誌その他資料の購入等に要する経費
- 会議費…会議、研修会等への出席または開催に要する経費
- 事務費…消耗品代、通信運搬費
- 調査旅費…会派が行う先進地の調査または現地調査に要する経費
- 要請・陳情活動費…会派が要請または陳情活動を行うために必要な経費

富士市立高校生との懇談会

5月31日、富士市立高等学校にて、高校生と富士市議会議員との懇談会を行いました。

同校では、生徒の政治参加意識の高揚を目的に、生徒が考案した「保育士サポート人材育成法案」や「同性結婚法案」等の法案について与党・野党に分かれて議論する「模擬議会」を行っており、今回の懇談会では、アドバイザーとして参加した富士市議会議員10人に対して、生徒たちが法案に関する調査内容を発表し、7月に実施される模擬議会本会議に向けて論点の整理が行われました。

保育士を支援するサポート人材の保育園等への配置を求める与党グループでは、「保育士の業務量は多く責任も重いので、軽作業を行うサポート人材が必要」という生徒の主張に対して、議員からは「有効求人倍率や離職率の高さ

を数値で示すとともに、給与引上げ等の施策も思うような効果が表れていないことも意見に加えることができると、サポート人材の必要性を強く訴えることができるのでは」とのアドバイスが送られました。

そのほか、懇談の中で生徒から富士市の公共交通や商業施設に関し、「岳南電車のアクセシビリティを改善してほしい」、「映画館を誘致してほしい」との要望が出されるなど、活発な意見交換が行われました。



▲議員からのアドバイスを聞く高校生

議員ふじさん歩

〈取材担当:佐野野昭〉

「鎌倉殿の13人」ゆかりの地

『富士川の合戦 源氏・平氏の陣は』



▲御崎神社



▲寒竹浅間神社

富士川の合戦は、治承4年(1180年)、源氏の軍勢が動く、近くの沼で眠っていた水鳥が一斉に飛び立ち、その羽音に驚いた平氏軍は源氏の夜襲と思い込み、戦わずして逃げ去った話として有名です。この頃の富士川がどこを流れていたかはっきりしませんが、両陣は富士川を挟み、東西に対峙したと言われています。

今泉にある平家越は、平氏軍が逃げ帰った場所とされており、かつては平家越という地名もありました。

一方、源氏が本陣を置いた場所とされるのが富士岡にある寒竹浅間神社で、境内の竹をかがり火の燃料としていたようです。また、比奈の御崎神社にも陣を置いたとされ、根方街道周辺には源頼朝とゆかりのある史跡が点在しています。

富士川の合戦の地を巡ることにより、武士の伝説だけでなく、当時の地形や富士川の流れ、そして現在に至る変遷にも興味を引かれます。



▲平家越の石碑

議会にひと言

今回は、今年成人式を迎えた大学生で、市内で野球審判員としても活躍されている松浦伊吹さんにお聞きしました。



(インタビュー:長谷川祐司)

富士市の野球人口は静岡県内で上位を争います。しかし、現在の富士球場は照明設備やグラウンドの広さ等問題点が非常に多いため、早急に改修し日本一の富士山にふさわしい球場となることを望んでいます。改修が実現できれば、各層の全国大会、プロ野球の試合やキャンプを誘致し、多くの観客等による経済効果も期待できます。

富士市には富士山という貴重な財産があるため、自然豊かな環境を生かし、スポーツが文化の核となるようなまちづくりを進め、スポーツの力で富士市を活性化させてほしいと思います。そして、第二の大谷翔平選手が富士市から誕生するような環境づくりを切に願います。

議会 HISTORY Vol.17 ヒストリー

市民が市政の主人公、まちづくり会議スタート (昭和59年)



▲原田地区でのまちづくり会議

昭和59年、第三次富士市総合計画「ふじ21世紀プラン」の策定に当たり、「地域のことは地域住民が一番よく知っている」との考え方の下に、地区単位で「まちづくり会議」を開き、地区別計画が策定されました。その後、同会議は役割を終えて解散しましたが、市民相互の話合いの場の必要性が認識され、昭和62年度には、住民が主体となって「まちづくり推進会議(会)」が各地区に組織され活動を開始しました。行政もこれに応え、行政懇談会を開催するとともに、さらに地域の力を課題解決に生かすべく、「地域の力こぶ増進計画」を策定し、平成28年にはまちづくり協議会を条例で位置づけました。

そして、今年6月には「富士市まちづくり協議会連合会」も組織され、その動きが注目されています。(担当:井上保)

編集後記

6月定例会をもって各委員会の改選があり、引き続き議会広報委員となりました。特集で紹介したウェブサイト情報だけでなく、議会だよりについても内容を工夫し、今後も市民の皆様に関心を持っていただけるよう委員一同努めてまいります。(井出晴美)



次回定例会予告

9月定例会は、9月9日から10月12日まで開催され、一般・特別会計、企業会計の決算審査等が行われる予定です。

発行
富士市議会

編集

議会広報委員会

静岡県富士市永田町1丁目100番地
☎0545(55)2878(直通)

ウェブサイト

富士市議会

検索